

## 授業改善等に関する報告書（2024年前期）

## 授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

〔2024（前期）生活科学部合同〕授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
家族関係論	笠原 良太	意欲的な学生とそうでない学生との差が大きく、授業レベルの調整が難しかったが、全体的に肯定的評価を得ることができた。来年度も初学者向けにわかりやすく、基本的な内容を教授できるように心がける。
家庭工学	加藤木 秀章	身近な生活で工学を意識すると学修に効果的です。
食物学	佐藤 幸子	食生活に関して、自分自身の食について見直すことの意識が定着したことが大切です。自分自身の健康を自分で管理する意識を常に継続していきましょう。食に関して、興味を持ってもらえたことはとても喜ばしいことです。皆さんの食文化は、皆さんの食習慣によって、異文化と融合させ、作り上げていくことになるでしょう。多くの食経験を重ねてください。
生活経済学	高橋 桂子	40名の履修生のうち、24名から回答が届きました。ご協力ありがとうございました。「スライドにメモを残していくのは良いけれど、マウスで書いていく上、ぐちゃぐちゃと書いていくので結局何がしたかったのかわかりづらかった。色も原色でみづらかった。」とのご指摘、確かにそうですね。次年度はもう少しセンスよく、マウスを使うようにしましょう。
調理学及び実習	平井 智美	アンケートへのご回答をありがとうございました。おおむね授業内容や方法については満足いただけただけで安心しました。授業の理解度が少し低い場合もあったようで、申し訳ありませんでした。説明の仕方を工夫したり、質問の時間をこまめに設けるなどして今後は改善していきたいです。家庭での予習復習の時間が他授業に比較すると少し短いようでしたが、毎回の授業内で必ず、前回の学習内容を振り返りながら学生さんに質問し、答えていただく時間を設けていましたので、こちらを復習として有効活用いただけたのかと思います。また、実習内容については学生さんに作れるようになりたい料理を伺い、授業に取り入れるなどをしておりましたので、内容に満足いただけたと同時にモチベーションも上がり、授業への積極参加につながったのではないかと思います。教員側としても、皆さんに積極性を持っていただけたおかげで授業が進めやすく、また皆さんの安全にも充分注意しながら怪我など無く最後まで行うことができました。ありがとうございました。
被服製作実習 a	磯崎 明美	アンケートの回答結果、 被服の製作について興味を持つことが出来たというご意見の一方 ・全体的に授業の進みが早いので遅くする ・課題が多いので少なくする ・最初の説明を長くせず、説明と実習を同時に行う。 などの貴重なご意見をいただきました。  この授業の目標は 快適な生活を営むために必要な衣服を提供できることを目指し、 衣服製作に使用する材料とその性質、縫製技術の基礎、および使用する用具の知識を総合的に学ぶことです。  授業の進行は、 実習を事前学修(準備)・〔説明・示範・実習〕・事後学修(授業の予定の進度まで終える・復習)の5段階〔授業中3段階〕の繰り返しをすることで被服製作について学び理解を深める方針で進めました。  今後、実習としての課題と学びの段階の方針は変わりませんが、ご意見を参考に、 ・製作物と授業の進度 ・説明・示範の方法 などを改善・検討し、授業の中での理解度を深めることにより、事前学修・事後学修もスムーズにされるようにしたいと思います。 ご回答いただきありがとうございました。